

令和3年度第2学年保護者進路講演会

- 1 日 時 令和3年9月9日（木） 14:45～16:00（75分）
- 2 目 的 文系・理系とコース別の他、医学部医学科の保護者講演会を設定することで、コース毎の最新情報を保護者へ提供することで、生徒の志望校合格へと繋げていくことを目的とする。
- 3 講 師 ① 文系コース（場所：21教室 参加者：52名）
東日本教育事業部（仙台校勤務） 課長代理 森 裕 司 様
- ② 理系コース（場所：大体育館 参加者：45名）
駿台予備学校東日本教務部 仙台校教務マネージャー 重 藤 賢 次 様
- ③ 医系コース（場所：図書館 参加者：40名）
駿台予備学校仙台校 高卒クラス担任 大 澤 和 美 様
- 4 題 名 演題『受験を迎えるにあたって 保護者の心構え』
- 5 対 象 第2学年保護者

○PTAにおける保護者進路講演会の実施について

本校では、例年、学年PTAにおいて、保護者向けに進学講演会を実施しています。

第2学年の保護者に対しては、文系・理系コース別に加え、医学部医学科のコースを設定し、コース毎の講演を実施することで、保護者のニーズに応じていきたいと考えています。

昨今、文系・理系ともに受験は多様化し、保護者の方々に受験の仕組みや最新の情報を提供することで、志望校合格へ向けた計画の作成や意識の向上と繋げていただくよう、開催しております。

秋田高校 進路指導部

○保護者進路講演会の様子



①文系コース 森 裕司 氏

駿台予備学校入職後、仙台校にて高校生クラス進路アドバイザーとして、数多くの受験生に進学指導を行い、現役合格者を輩出してきました。

また、仙台校を拠点に東北地区の高等学校へ入試情報・入試動向の提供を行いながら、東北・首都圏両面の観点から各地の高等学校にて進路講演を実施している。



②理系コース 重藤 賢次 氏

駿台町田校に入職後、お茶の水校・横浜校で勤務。高卒クラス担任を数年担当し、その後は10年以上現役生の指導を担当。お茶の水校や横浜校で校舎長を歴任し、仙台校現役生クラス校舎長に着任。現在は、現役生および高卒生クラスの取りまとめ役を担当。東大や東北大といった難関国立大のみならず、早慶上智大など私立大、医学部・薬学部などメディカル系と多岐に渡る指導を実施している。



③医学部・医学科コース 大澤 和美 氏

仙台校の高卒クラス担任として主に理系・医系の進路指導。特に医学部担任歴は長く、これまで数百名の医師の卵を輩出。学生指導にあたる中で東北地区の医師不足を実感し、解消を目指したいという思いに至り、現在は「東北地区の医学部合格者を増やす」ことをライフワークとして、高校生対象の講演会や面接対策講座等に奔走している。

○実施後のアンケート（自由記述）

①文系コース

- ・A0 入試、推薦入試についての説明も、もう少し詳しくお話を聞きたかったです。でも、とても参考になるお話でした。
- ・講師の森先生御自身も同じ保護者の立場であり、経験豊富なプロとしての話にいろいろ勉強になりました。親として一緒に受験を乗り切りたいと強く感じました。
- ・第一志望を下げたは？とすでに話してしまっていたので、反省し、まず子供に謝った。我が子は要領が悪い上に長時間の勉強は飽きてしまう為、受験を乗り越えるにはとても難しいと思うが、見守りたい。

②理系コース

- ・客観的に入試情報を紹介してもらってありがとうございました。
- ・親のやること、心がけなどが分かり、とても参考になりました。
- ・生活が規則正しく、一般的な授業や宿題をまじめにやって、苦手科目をつぶしているような子は普通に伸びると思います。それくらい誰でもわかるし、当然子供をそう育てたいと思います。が、実際、高校生になると、親の思い通りにはなりません。ほぼ真逆の独自の考えで、勉強をしている子供も、人によっては、ごく一部、合格できる子もいると思います。これまで、様々な子供を見てきたと思われる先生に、それでもどういうタイプなら合格できているとか、何かヒントがないか教えてください。あるいは、真逆のタイプの子が、考え方をかえるきっかけやヒントをください。あるいは、独自の考え方の子でも、合格できているケースを教えてください。

※講演者から質問への回答を頂いています。

①独自路線で合格したパターン

- ・苦手科目をカバーできるくらい自分の得意科目をとことん突き詰めていくパターン
※ただし得意科目が入試科目の配点でほかの科目より高い場合が多い

②独自路線でなくても言えること

- ・今は勉強していなくても部活引退後に集中して猛勉強するパターン
- ・成績などの数値的目標や、ライバルを自分で見つけられるパターン

③考え方を変えるきっかけについては、

- ・尊敬できる第3者（先生や先輩、志望大学の教授や在籍生）からの実際の話が一番良いのではないのでしょうか。いずれにしても「この大学に絶対行きたい！」「絶対に医師になる！」といった内発的動機付けがうまくできた生徒は、自分から勉強に向き合いますし、過去問などの研究も進めていながら勉強するため、合格していることが多いです。
- ・先輩方の状況を知れたのは、とても励みになりました。しっかり子供を支えていこうと言う気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・受験の話など大変参考になりました。
- ・492日後に来る受験までに、親子でしなければいけないことがはっきりと良く分かりました。と同時に、子供が部活動ばかりで、どう声掛けをしたらもう少し勉強時間を確保しようと思ってくれるのかを知りたいと思いました。

※本当にその大学に入りたいのか。一度話し合ってみてほしいと思います。特に、難関大を希望している場合は、2次科目の強化できる期間は、2年生の段階での学習がほとんどを占めると考えてもいいです。保護者面談等で担任と相談してみるのもいいと思います。

- ・帰ってから早速子供に今日聞いた内容を伝えました。子供も真剣に聞いていたので良かったです。
- ・まずは学校での授業をきちんとこなす、習った所を確実に自分のもの出来るよう理解できるまで復習する。当たり前の事がすごく大切で、だけど毎日続ける事が簡単なようで難しい…。勉強するかは本人次第なんだけど、親として子供のやる気を引き出せる事も大切だと思いました。”
- ・駿台模試に参加してないのでこれから本人に勧めようと思いました。
- ・お話を聞いて、子どもと向き合う気持ちになり、親も励まされたような気がします。貴重な機会を頂き、本当にありがとうございました。時代は変わりつつありますが、本人のやる気をサポートしなければと思うことができました。

③医学部・医学科コース

- ・親として知っておくこと、効果的な関わり方の参考になりました。
受験に関しての情報収集の場として、また親としての心構えを伺うことができたのでこれからもこのような機会があるといいと思います。
- ・とてもわかりやすく、参考になることばかりで、聞き逃さないよう夢中で聞いていました。2年生の段階でたくさんの情報をいただけて感謝です。どうもありがとうございました。
- ・選択科目を決める前に聞きたかった。1年生の頃に聞いていれば、科目を決めるときに参考にできたと思う。
- ・お話しされた内容としては、通っている塾の先生からこれまでも聞いていた内容が多かったのですが、プロの先生のお話を聴くことができ貴重な経験でした。親として気持ちが引き締められました。
- ・とても参考になり、また目標が改めて明確になったように感じます。貴重な機会をありがとうございました。
- ・たくさんの情報を得られることができ、とても参考になりました。さっそく子供に話して情報を共有しました。

※2年生は、夏休みの学習の成果が10月・11月頃に現れてくることが多いです。また、2年生の学習の到達目標として、3年生の10月頃までに（2次試験にある科目は）学力的に仕上げていく必要があります。そう考えると、この9月という時期は、非常に大事な時期であると同時に、受験生としてのスタートとする時期にもなります。志望校に合格する生徒の多くは、2年の夏から9月頃から受験勉強を意識したという感じです。

このPTAの時期を境に、ご家庭でも本格的に受験に対して話し合いを持つ時期となります。保護者面談等も始まりますので、家庭の方針や子供の考えをしっかりと固めていただけたら幸いです。

秋田高校 進路指導部